

## 地学化学❤️

皆さんこんにちは6班です。

これからマアト山についての発表を始めます。

まずは、詳細です。マアト山の標高は、約 8000m。

なんとあの世界最大の山、エベレスト山の標高とほぼ同じなんです。すごいですねー！ちなみに富士の約2倍となっています。次に所在地です。マアト山は、金星の中にある最大の山です。皆さんも某ファッション通販サイト社長、前〇社長のような人になって金星へ let'sGo。

次は位置について説明します。北緯 0.5 度、東経 194.5 度、日本の標準時子午線 135 度よりも東にあります。覚えておきましょうΣ(°Д°)。❤️

次は大きさについて説明します。短径 28 km ちなみに短径というのは楕円形の短いほうの径です。長径は、31 km です。長径というのは〇〇に入学した君たちならわ・か・る・よ・ね 🌠

次にマアト山の名前の由来について説明しまーす。

これはすごーいで・す。よ！！！！

なんと古代エジプト神話の女神、マアトという名前にちなんでつけられました。

次に、活動について紹介しまーす。

金星探査機マゼランが 1992 年に火山活動の痕跡を発見しました。噴火は今日まで確認されていません。

残念ですね。カルデラ内部に 5 つの崩壊クレーターがあります。入りたいですね。1980 年初頭に初めてのパイオニア・ヴィーナス計画によって金星の大気調査が行われました。楽しそうですね。その際大気において大きな変動がありました。

それは、二酸化硫黄およびメタンの濃度です。

吸ってみたいですね。

出典および協力は、[ウィキペディア](#)、weblio 辞書、google パソコン(Microsoft windows)の協力でお送りいたしました。